

■紙面イメージ

『(1) 自分から片づけるようになる 整理整頓』



chapter 1 「その気」になる親の関わり方

片づけって、しなくちゃダメなの?

急に自分で片づけるようになって言われても、どうしたら良いかわからない。そもそも片づけてしまいといけない? そんな子どもの気持ちに目を向けてみましょう。

子どもの気持ち	親の気持ち
親が片づけってくれるはず 今まではいつも片づけてくれていたのに。何だから助けてくれなくなったり…。	自分で片づけて! 小さい頃は手伝ってあげたけど。もう成長したんだから、自分で片づけられるはずよ。
片づけって捨てる?こと? 片づけるって言いながら、「いらないでしょ」とって何でも捨てようとするんだもん…。	捨てないから捨分してもいいわね いらないものがあふれているよね。使っていないんだから、捨てちゃってもいいでしょ。

遊び中

親から見ると散らかっていても
子どもにとっては快適な空間??
どうして片づけないといけないの?と
思っていることが多いものです。
困ってイライラしているのは親だけで、
子どもには片づける理由がありません。

子どもから見ると、どんなものの?
Point!
整理整頓不足が原因でさまざまな状態が起こるけれど、子どもはそのことに気づいていないのよね。

親と子のギャップ

親は子どもがあとで困るはずだからと片づけを促しますが、「今」困っていない子どもには真意が伝わりません。自分は平気なのに、親の都合で片づけさせられていると感じてしまいます。

算数のノート
忘れちゃった。
忘れもの
なくしどもの
時間のロス

子どもの気持ちになってみて。

21 20

『(2) 自分で解決できるようになる 友だち関係』



chapter 2 子どもが悩むときの親の心のもちよう

親の「べき」を脇に置いて聴こう

子どもとの会話に親の「べき」をもち出すと、会話をそこで終わってしまいます。子どもの気持ちに寄り添う返事をすることで、子どもはどんどん話せます。

Before

「ママ！ 聞いて、聞いて！」
 「おかえりなさい、ほら、靴を並べなさい。先に手を洗って。うがい！ ランドセルはちゃんと…」
 「……」

Point!
 「子どもにはちゃんとした子でいてほしい」という気持ちは先立つあまり、子どもの話。つまり子どもの「前に伝えたいことがある」という気持ちをさえぎってしまうのがマジョー。

After

「ママ！ 聞いて、聞いて！」
 「なんだかとっても楽しそうだね！」
 「今日、体育でサッカーしたんだけど、シュートを決めたんだ！」
 「それはうれしいね！」
 「うん、それでね…」

Point!
 今、目の前で子どもがどんな気持ちでいるかに注目し、受け止めているマジョー。それで子どもは安心し、もっともっと話したくなるってものマジョー！



子どもがすっかり学校や友だちの話をしてくれなくなったり…。
 それはそういう年頃だとともいえますが、親の話の聽き方が隠げてしまっている可能性もあります。
 子どもが話しやすくなるような聽き方かどうか考えてみましょう。

**子どもが安心できる
話の聞き方があります**

実はちゃんと聴けていない！?

親と話すのが億劫になるのは、早とりでなにかと突っ込まれたり、なぜだか説教が始まっちゃったりするから。きちんと子どもの話を「聞く」ことに難すれば、子どもはもっと話せるのです。



Point!
 猛烈に叱咤つかなかった親の勝手な解釈に、がっかりしてしまうこと。話をきちんと傾き話をもつことから始めてみマジョー。